

第9回平戸市行政改革推進委員会議要点録（事務局用）

日 時	平成 28 年 12 月 21 日（水） 13：00～15：10
場 所	平戸市役所 4 階 小会議室
出席委員	別紙のとおり
事務局	松田総務部長、（行革推進課）平松課長、石田班長、長嶋主事

【次第】

1. 開会
2. 報告
 - （1）平戸市行政改革推進計画進捗状況表（平成 27 年度実績）（案）の訂正
 - （2）行政改革推進計画中期プラン（案）について
3. 議事
 - （1）公共施設等総合管理計画施設評価基準について
4. その他

委員名	質疑等
事務局	定刻になったので、第9回平戸市行政改革推進委員会を始める。開会にあたり、松永会長より一言あいさつをお願いします。
会長	皆様、本日はお集まりいただきありがとうございます。本日は、平戸市行政改革推進計画進捗状況表（平成 27 年度実績）（案）の訂正および行政改革推進計画中期プラン（案）についての報告と、公共施設等総合管理計画における施設評価基準について議論いただく。それでは、事務局より説明をお願いします。
事務局	資料に沿って、平戸市行政改革推進計画進捗状況表（平成 27 年度実績）（案）の訂正、行政改革推進計画中期プラン（案）を説明。
会長	今の説明に対して、意見をお願いします。
委員	中期プランについては前回承認されたということなので今更かもしれないが気になる点があるのでお伝える。3 ページの第 2 節の中で、項目の達成に向けた具体的な取組を示したものと記載されているが、5 ページ以降の取組欄を見ると抽象的表現になっているため、何をするのかイメージがわからない。ここに記載していないだけで、各課で取組の具体案は持っているということか。
会長	前回も同じような意見があり、具体的な部分は今後各課で検討するとのことだったが、その後どうなっているのか。
事務局	所管課等に記載している課と調整を図って具体的にどうしていくか話をしていかなければならないと思っているが、抽象的な表現で記載しているというのが現状である。

委員	平成 29 年度から実施運用という項目が多い中、その調整は間に合うのか。
事務局	前期プランから引き続けている項目もあるので、全てを 1 から調整するというわけではない。
委員	中期プランのサブタイトルに「職員一人ひとりが経営者」とあるように、職員の資質向上に力を入れたいという想いはわかるが、中身は消極的内容だと感じた。9 ページの時間外勤務の縮減で言えば、時間外が発生する原因を追究して対策する必要があると思うが、書かれている取組がぼやっとしていて、具体的取組について考えているのか気になる。
事務局	合併から職員の定員適正化を進めて百数十名減っている中、一人あたりの業務負担が増えているという現状がある。原則として通常業務の延長線での時間外は認めないことにしているが、期限が決まっていることや市民の要望に応えること等については時間外を認めている。そうした中で、時間外を減らそうとすれば、通常業務のスリム化をするしかない。一方、福祉や子育てについては新たなニーズが生まれて業務が煩雑になる傾向にあるなど、業務量の整理が難しい。時間外の原因については、年数回のヒアリングの中で聞き取りを行っており、時間外の予算については、給与特別会計を改めることでコスト意識も高まっている。時間外自体は減少傾向にある。
会長	ノー残業デーの実施はされているのか。
事務局	毎週水曜日に実施している。どうしても残業が必要な場合は、許可を得るようにしている。
事務局	サブタイトルの件は、行政改革推進計画全体のサブタイトルなので、前期プランから引き継いでいる。
委員	行政効果について、金額で示すとわかりやすいかもしれないが、金額に現れない行政効果がある。財政面だけでなく、例えば市民の不満をどう解消するだとか、業務ミスが起こらないようにする方法だとか、そういう行政面を考える必要がある。また、玄海原発の災害対策について書かれていないことも気になる。
事務局	中期プラン 8 ページ上段にある職員の資質向上と意識改革で掲げているように、スキルの高い職員を育成していかなければならないと思っている。職員の能力向上が市民サービスに繋がっていくため、この取組の中で行政面について検討していく。原発の災害対策については、地域防災計画の中に盛り込まれており、国、県と連携した内容になっている。一つの自治体だけで対応するというレベルではないため、本計画の中には記載していない。
委員	本計画で行政の意識改革に取り組んでいかれると思うが、市民の意識も変わってい

	けばもっと大きな効果が期待できるのではないか。
事務局	まずは、職員が同じレベルで市民サービスをできることが重要だと考えている。
委員	このような話を聞いていない市民の方には、行政改革がなかなか浸透しないのかもしれない。その辺を浸透させていくのも私たちの役割であると思う。
委員	近隣自治体と連携する事業というのは、ここでは取り上げなくてよいのか。
事務局	観光エリアでのルート開発であったり、交流人口の拡大など、広域圏での取組に対する国からの補助メニューは結構ある。しかし、自分たちの町が有利に働くようにしたいと考えるため、足並みが揃わないというのが現実である。平戸市も数年前観光事業で提案したことがあるが、近隣自治体との調整が整わなかった経緯がある。こういう状態なので、基本的に県が中心となってまとめていくことにしている。
委員	細かい内容の記載は求めないが、受け入れていくとか推進していくといった内容が記載されていてもいいと思うが。
事務局	抽象的内容で記載してしまうと、今後管理していく上で具体的取組を検証することが難しいため、ここで記載することは控えたい。
委員	地域コミュニティについて、何かを生み出していかなければ意味がないと思うので、無くすばかりではなく育てるという観点が大事だと思う。
委員	同じような意見で、良いイベントであってもスクラップビルドのため3年経ったら予算が付かなくなったので終わるといえることが多いと感じる。せっかく盛り上がってきたところで、来年からは民間でやってくれという形で言われることが多いが、始めから民間を入れて組織していればスムーズに受け渡しがいくのではないか。スクラップビルドに拘りすぎずに、良いものは残すという考えも必要かもしれない。
委員	行政がやっていたことを民間に下ろしていくというのが基本的な考えであると思うが、それをやれる人材の育成というのが重要になってくる。
会長	他になれば、議事（1）公共施設等総合管理計画施設評価基準について事務局より説明をお願いします。
事務局	資料に沿って、公共施設等総合管理計画施設評価基準を説明。
会長	今の説明について、意見をお願いします。
委員	文化センターや生月開発総合センターなどの集会施設について、どこが使われる

	<p>というのは政策的な判断によるのではないか。文化センターを主に使って、生月開発総合センターの利用率が低いというのは当然である。こういう大きい集会施設は、各地区で開催する意図があって利用される施設だと思うが、それを利用率で判断してよいのか気になる。集会施設だけでなく、小学校でも、小学校人口を増やす施策をしないで、人口が減っていくので統合しますというのは、それまで行政は何をしていたのかという話にならないか。また、面積についても、一人当たりの延床面積を平戸小学校に合わせるという案はどうだろうか。</p>
事務局	<p>小学校の面積については担当課とのヒアリングで、児童生徒が減っても、各教室の必要面積は確保する必要があるとの意見があったため、修正することとしている。一般的な話として、個別施設の話については総合管理計画のアクションプランで詰めていくこととしており、総合管理計画の中では、大きな観点での方向性を示すこととしている。本委員会で出た意見については、できる限り計画の中で反映していきたいと考えている。</p>
委員	<p>全員の要望を聞いていれば適正化は図れないので客観的に整理するしかないということはわかっている。何度も話しているが、施設を集約した場合に、交通の確保は併せて実施するという説明をしていかなければならない。また、多機能施設にしていくという話も検討していかなければならない。</p>
事務局	<p>今回の評価がベストとは言えない部分があるかもしれないが、全て利用状況やコストなどの数字で評価すると施設の偏りができてしまう可能性があったため、一定距離で地域の施設を残すような評価をさせてもらっている。</p>
委員	<p>以前説明していただいた資料で、各集会施設のコストについて、人員配置している施設だから高いという傾向が見られたが、その辺りの情報は使わないということになるのか。</p>
会長	<p>これが一つの切り口だということは各委員理解しているが、ソフト部分の改善についても盛り込んでもらいたい。</p>
事務局	<p>ここで示している個別施設については、総合管理計画を作るうえで、どの程度削減しなければならないか整理するための積み上げ資料として作成しており、これを元にアクションプランで整理することとしている。</p>
委員	<p>生月の集会施設は地域住民がお金を出し合って、生月町の補助を受けて建てた経緯があるため、廃止とする考えが受け入れられるのか。</p>
委員	<p>費用対効果という観点でいけば、どこが市民税を多く納めているのかというのも一つの切り口になるのではないか。ふるさと納税は今年はどうなっているか。</p>
事務局	<p>昨年の 26 億に比べると下がっているとは聞いている。</p>

委員	<p>駅公衆便所について、ヒアリング前は現状維持となっていたものが、ヒアリング後は廃止予定となっており、その理由として平戸口駅に整備されているためと書かれている。西田平駅は昆虫自然園、北松農業高校の利用者が多いと思われるがいかがか。</p>
事務局	<p>ここで廃止予定としたものは、基本的にすぐに廃止するというわけではなく、次に新しく建替えをしないという考えである。所管課とのヒアリングの中でもそういう意見はあった。大きな考え方として、各駅にトイレを今後も維持することは難しいのではないかと整理であるが、個別事情により必要性が高いということになれば、建替えて維持することになる。</p>
委員	<p>関連して、ヒアリングの時間が概ね1時間で実施されているが、その時間で全ての施設を判断できたのか気になる。もっと回を重ねたり、住民に下ろして協議していく必要があると感じる。また、大島に神浦待合所という新しい施設があるが、ここに載っていない。船が着かなくなっているのほとんど利用されていないが、ここは問題ないという認識なのか。</p>
委員	<p>B&G海洋センターについても廃止予定となっているが、いつを目処に考えているのか。生月町は、これらのスポーツ施設を活用して活性化を図ろうとしているときに、こういうことをされると何をやっているのかわからない。</p>
事務局	<p>先ほど説明したとおり、基本的に使える間は使うが、将来老朽化して建替えが必要となった際、また新たに建てるのかどうかという考え方である。補助金での建替えということは難しく、人口減少や利用状況の低下を想定すると、近隣学校の体育館などを利用していくということが現実的ではないかということで試案している。</p>
委員	<p>このことについては、この間の議会で市内外の利用を促す方向で考えていると回答されていたと思うが、その辺りの考えが反映されていないのではないかと。</p>
委員	<p>さきほど少し話にあったトイレの件について、他市では商店のトイレの改修に市が補助金を出す代わりに、公衆利用できるようにしてもらっているところもあるので、参考になるかもしれない。また、小中学校については強く要望したいが、子どもたちの将来を考えたときに、どうすることがベストなのかという観点で見てほしい。地域と学校は密接な関係にあるので、十分検討して答えを出していただきたい。</p>
委員	<p>インフラ整備が進み、昔のように近距離にハードがなければまならないという時代ではなくなっているため、人口減少に伴い施設も減らさなければならないということは理解する。問題は、地域の活性化をどう図っていくかである。小学校を例にとると、いかにふるさとを誇りに思って巣立っていけるのか、戻ってきたいと思わせるのが大切である。</p>

委員	<p>生月町から見ると、合併後平戸地域ばかり整備されているという思いが強い。その中で、施設の適正化について既得権を主張する者は多いので、慎重に対応したほうがよい。</p>
委員	<p>合併後マイナス面ばかり見るのではなく、プラスマイナス両面見なければならない。社会福祉協議会としては、地域の端々ほど高齢化が進んでいるので、そこを手厚くしようという考えで対応している。合併しないほうが良かったという人もいれば、合併後良くなったという人もいるので、公共施設の適正化も良い面も見て判断してほしい。</p>
委員	<p>2月の地域協議会で公共施設の方向性について説明を求められており、その頃にはお話しできると思うと回答しているが、問題ないか。</p>
事務局	<p>次回委員会で、総合管理計画の素案をお示しし、1月下旬からパブリックコメントをすることになっているため、その頃には一般公開されているので問題ない。</p>
委員	<p>議会への説明はどうされるのか。</p>
事務局	<p>議案ではないが、3月議会で議員への説明は考えている。</p>
会長	<p>他になれば、次回の開催日について事務局よりお願いする。</p>
事務局	<p>今回は公共施設等総合管理計画の素案と、これまでを総括した委員会の答申について予定している。時期については、16日以降でお願いしたいと思っている。</p> <p>次回日程を1月23日13:00で調整。</p>
会長	<p>以上で、第9回平戸市行政改革推進委員会を終了する。</p>

平戸市行政改革推進委員会委員（名簿）					
区分	氏名	所属・企業名	地区	職務	出欠
学識経験者	松永いづみ	松永いづみ税理士・行政書士事務所	平戸	会長	○
企業経営者	福田 詮	福田酒造（株）	平戸		○
	井元 宏三	（有）マルイ水産商事	生月		○
	吉永 享助	（有）平戸口 吉善商店	田平		×
市民代表者	黒崎 洋介	平戸市地域審議会委員	平戸		○
	岩井 誠	生月町地域協議会委員	生月	職務代理者	○
	早田 博子	田平町地域協議会委員	田平		○
	田中 範子	大島村地域協議会委員	大島		○
	松口 茂生	平戸市PTA連合協議会	平戸		○